

# くらくら楽読楽書 第18号

精華町立図書館

所在地：〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南福八妻小字北尻 70 番地  
電話：0774-95-1911 FAX：0774-95-3976  
HP：<http://library.town.seika.kyoto.jp>

## おすすめの本

### 『話してあげて、戦や王さま、象の話を』

マティアス・エナール (著) 関口 涼子 (訳) **N74**

1506年、ミケランジェロは怒りに震えていた。雇い主の教皇ユリウス二世が度々支払いを渋り、彼を軽んじる態度をとり続けるから。そんな時、時の権力者オスマン帝国のスルタンから金角湾に架ける橋の設計を依頼され(多額の報酬で!)、イスタンブルへ行くことに。そこは様々な人が暮らす異教の地。

対照的な二つの岸を結びつける橋は、技巧に満ちた美しいだけの橋ではなく、その歴史を、商業、宗教、政治を孕んだ、都市が都市であるための橋であるべきだ。そう考えるミケランジェロは、美しきトルコの詩人メシヒを連れてイスタンブルを散策します。厳格でありながらも軽やかで、天空のドームから光の束が降り注ぐアヤソフィア、優しい光に浸される図書館、活気あるバザール。潮の香り漂う、奇妙に懐かしい異国の街。人々の表情や色彩、様々なイメージを彷彿させる街。ミケランジェロを魅了するイスタンブル。そして、アンダルシアの歌い手。偉大なる芸術家の創造の過程、そして愛を、史実を基に虚構を織り交ぜながら美しく描いています。ヨーロッパとイスラームが出会う中世のイスタンブルを、あなたも散策してみてくださいいかが？

ミケランジェロについてもっと知りたくなったら...

- 「ミケランジェロの生涯」 ロマン・ロラン (著)  
偉大なる芸術家は、意外にも、家柄やお金のこと  
でよくよんでいる人だった...らしい。
- 「岩波 世界の美術 ミケランジェロ」  
アンソニー・ヒューズ (著)

彼の手がけた彫刻、絵画、デッサンなどの図版も豊富です。